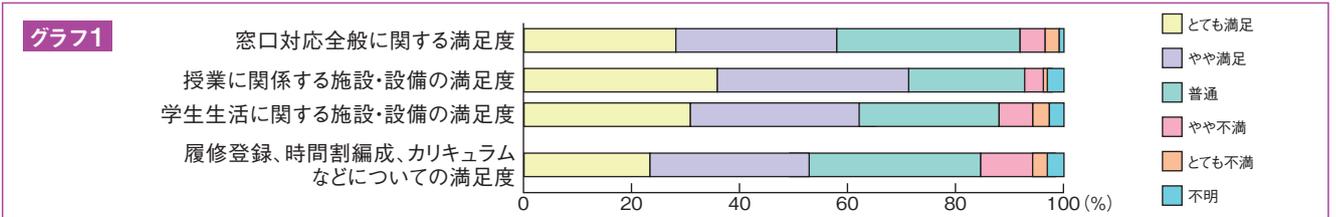


2015年度 「学生による教育環境改善のためのアンケート」実施報告

【実施日程・調査方法】 2015年度「学生による教育環境改善のためのアンケート」は、2016年1月9日から19日の間に実施しました。このアンケートは「学生による授業評価アンケート」とともに指定クラスを履修する学生には教員が学生に直接配付し、それ以外の学生には自宅宛に送付しました。回収については、指定クラスの学生代表者による窓口への提出を基本とし、それ以外は学内投函箱へ提出、または郵送により提出する方法をとりました。大学院生についても同様に配付・回収を行いました。

このアンケートは学生・大学院生のみなさんから、意見を広く集めることを目的としており、4つの設問に対し、満足度を5段階「①とても満足②やや満足③普通④やや不満⑤とても不満」であらわし、設問ごとに自由記述欄を併設し実施しました。

【集計について】 アンケートの回収は、学部・大学院の学生を合わせて8,068名の対象者の内、3,112件のデータを回収することができ(回収率:約38.6%)、学部・大学院それぞれ所属別・学年別に満足度の集計を行いました。満足度の結果は **グラフ1** の通りですが、詳細については「獨協大学の自己点検・評価活動」のホームページをご覧ください。自由記述については、個人を特定できないように資料を作成し、その内容については「授業評価アンケート」同様、個別の公表は行いませんが「フィードバックコメント」として大学からの回答をホームページに掲載します。



【今後について】 今後は「事務局自己点検・評価委員会」を中心に、アンケート結果に基づく問題点を抽出し、その検討及び改善に取り組むことを予定しています。なお、活動状況・改善報告等については、アンケート結果に対してのフィードバックコメントとして回答するとともに、適宜、大学ニュースやホームページにて報告します。

【概要】

1. 2015年度の教育環境改善報告

2014年10月に創立50周年を迎え、次の50年(NEXT50)に向けて、「少人数教育と国際化・グローバル化教育の推進」、「創立50周年記念館(仮称)の建設とキャンパス再編(第4次計画)」、「現行諸制度と組織の検証とさらなる改革強化策の構築」に着手しています。事務局では、こうした重要課題に取り組みつつ、窓口対応、教育研究施設、学生生活施設の改善をはじめとする諸施策を進めてきました。

■窓口対応

- 各課で学生のみなさんからの指摘や意見について話し合い、速やかな改善に取り組みました。
- 各課では、「挨拶」「丁寧」「正確」のスローガンと教育的配慮に基づいて、学生との距離を近づける雰囲気づくり、積極的な情報発信などに取り組みました。

■教育施設

- 本学の方針であるエコキャンパス・プロジェクトをもとに、「創立50周年記念館(仮称)」の建設に着手しました。
- 学生の主体的な学修の支援を目的として、「ラーニング・commons分科会」が設置され、関連する部課の職員が分科会に加わり、アクティブ・ラーニング等について検討が行われました。
- 4棟については、GHP(空調)の更新を実施しており、省エネルギー性、快適性を向上させました。
- 学内の安全・防犯対策については、防犯カメラによる対策に取り組みました。

■学生生活施設

- 特に意見の多い学生食堂の改善については、昨年度に引き続き「学生の食環境に関する改善作業部会」のなかで集中的に検討してきました。
- 学生食堂の混雑緩和については、獨協大学父母の会からご支援をいただき、学生センター1階に一人用のテーブルとイスを設置し、食のスペースを増設しました。
- 東棟1階で弁当移動販売を開始したことにより、食の分散化を進めました。
- 「食のコンセプト」づくり、及び食堂運営業者選定を含めた本学の食環境改善に着手していきます。
- 35周年記念館については、「創立50周年記念館(仮称)」建設に伴う代替地確保のため、やむを得ず、「多目的スペース」の利用形態を変更することになりました。多目的スペースの面積が小さくなりましたが、「ミーティングルーム」等の施設が新しくなりましたので、この点を踏まえて学生のみなさんにはご理解をお願いします。

■その他

- 最近、乱雑な使い方による機器の破損が見られます。学生のみなさんの全員が快適に使用できるよう丁寧な使用をお願いしたいと思います。

2. 2015年実施のアンケートに対するフィードバックコメント

■窓口対応について

- 「親切だった」「対応が良かった」などの意見をいただいた一方、今年度のアンケートでは「愛想が悪い」や「高圧的だった」など職員の表情や態度についての意見が目立ちました。この点については今後、「事務局自己点検・評価委員会」を通じて、窓口スローガンである「挨拶」「丁寧」「正確」の意識のさらなる統一を図りたいと考えています。

■教育施設・学生生活施設について

- 各施設については、「きれい」「居心地がいい」といったコメントが多くありました。こうした意見をいただけるように、今後も維持していきたいと思えます。
- 天野貞祐記念館並びに東棟については、主に空調についてのコメントが寄せられています。本学の空調については、省CO₂、省エネルギーといった自然環境に関する本学独自の方針、埼玉県地球温暖化対策条例による要請などエネルギー利用に関する法令に沿うよう、日々調節を図っている点をご理解ください。
- 教室棟におけるコンピュータ環境について、現在建設中の新教室棟では、教室定員に応じた無線LAN環境を考慮しました。また、キャンパス全体の無線LAN環境についても、状況を確認します。また、PCのHDMI出力対応にしてほしいとの要望については、新教室棟設備にて対応する予定です。
- アリーナ、グラウンドの利用方法について、学生のみなさんに周知するため、ホームページにアップしました。利用手続きをよく読んでいただき、みなさんが気持ちよく利用できるにご協力ください。利用手続きには、ホームページにもあるように、学生のみなさんが公平に利用できるように様々なルールを設定しています。そのため、現在の制度で引き続き貸出しますので、ご協力をお願いします。
- グラウンドにおいて、夏場の人工芝グラウンド使用時に散水して欲しいとの希望がありましたが、熱中症の重大な原因として「湿度の上昇」が挙げられており、大変危険な行為となることから、散水をしないことをご理解ください。
- 学生センターについて、リクエストがあった給水器については、衛生面での問題が指摘されているため、導入が難しい状況です。また有料コピー機については、限られた時間ではありますが、学友会本部にて印刷、製版サービスを取り扱っておりますので、こちらをご利用ください。
- 学生センターの一部施設(1階フリースペース、雄飛ホール、学生ラウンジ、2階トレーニングルーム)は、一般学生も利用可能です。フリースペースとトレーニングルームを利用の際には、学生課にて案内しています。
- トレーニング器具等の導入については、初期費用と維持費、さらにはトレーニングスペースを考えたうえで購入を検討する必要がありますので、この点をご理解ください。
- 学生食堂などの「食」に関する問題について、今後は、「食のコンセプト」づくり、及び食堂運営業者選定を含めた本学の食環境改善に着手していきます。

■その他

- 創立50周年記念館(仮称)の建設工事による学内西側エリアの交通状況については、2017年1月に竣工予定のため、1年近く工事が続くことから、混雑いたします。またキャンパス西側のランドスケープの完成が2017年度内になる見込みです。その関係上、西門付近には工事関係車両が多く出入りするなどしますが、事故防止のため、通行の制限や警備員による誘導を行います。学生のみなさんにはご不便をおかけしますが、建設工事期間中のご理解とご協力をお願いします。
- タバコについては当面、「完全分煙」という方針を掲げながら、できるだけ喫煙習慣を身に付けられないよう取り組みを推進し、喫煙者数の減少に向けて活動していきます。2016年度も引き続き、草加市シルバー人材センターの方による分煙バトロールを実施し、キャンパス内の巡回をしていきます。あわせて、ガイダンスやポスター掲示などを通して、受動喫煙防止や健康増進のための啓発活動を実施していきます。

この記事に関する詳細は「獨協大学の自己点検・評価活動」のページをご覧ください。 http://www.dokkyo.ac.jp/jikotenken/a04_01_j.html

※大学ニュース4月号にてお知らせしました「学生による授業評価アンケート」結果(数値データのみ)と結果に対するフィードバックコメントは、現在、教務課、図書館、学友会にて閲覧することができます。閲覧の際は、お近くの職員までお申し出ください。